

プロポーザル評価基準

	区分	項目	評価ポイント	上限(1200点)	
第1次審査	企業の評価	経験・能力	過去5年間(令和2年度から令和6年度)の固定資産税家屋評価システム構築業務(LGWAN-ASP方式)の実績件数	100	
	技術者の評価	主任技術者	経験・能力	過去5年間(令和2年度から令和6年度)の固定資産税家屋評価システム構築業務(LGWAN-ASP方式)の実績件数	50
		担当技術者	経験・能力	過去5年間(令和2年度から令和6年度)の固定資産税家屋評価システム構築業務(LGWAN-ASP方式)の実績件数	50
		システムの概要及び特徴	・システム要件確認書(第9号様式)において、機能要件を満たしているか。	120	
		見積金額	・見積金額の経済性(家屋評価システム再構築業務委託)	50	
	・見積金額の経済性(家屋評価システム利用料)		50		
第2次審査	技術提案	基本項目	提案内容の適正	・本業務内容を把握し、適切な提案をできているか。	60
		構築・導入	実施体制 導入スケジュール	・本業務の詳細かつ現実的な実施体制及びスケジュールが構成されているか。 ・提案者と本市との役割分担について明確に記述されているか。	60
			操作研修	・初任者でも分かりやすい研修カリキュラムが検討されているか。 ・研修内容を向上させる仕組みを運用しているか。	60
		保守・運用	運用・保守サポート	・保守の範囲内で、法改正、評価替え等への対応ができるか。 ・特に評価替えに係る業務について、効率的に新基準へ対応できる提案となっているか。 ・障害発生時の対応について具体的に説明がなされ、速やかに復旧できるサポート体制になっているか。 ・補正值等の評価計算は独自にセットアップ可能か。	120
		システム機能	可視性	・画面構成、入力工程が優れているか。	120
			機能性・操作性	・専門性・熟練度を必要とせず、容易に操作方法を習得することができるか。 ・決裁者が容易に評価内容のチェックができるようになっているか。 ・動作速度は優れているか。	120
			拡張性	・建築確認申請の取り込みが可能か ・タブレット端末の運用等の利便性の向上が期待できるか。 ・地理情報システム(GIS)との外形図の連携等の業務効率化に資する機能があるか。	120
			その他 追加提案	・機能要件を問わず、当市にとって更なる業務の効率化が図られる提案、職員の負担軽減が図られる提案等がされているか。	120